
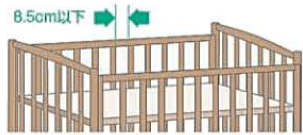


PSC・SGマーク付きベビー

- 1 SGマークが表示されているベビーベッドは、主として、家庭において、出生後24ヶ月以内の乳幼児の睡眠又は保育に使用することを目的として設計されたものです。ただし、揺動型のものは含まれていません。またマットレス、ふとんなどは対象外となっています。
- 2 SGマークが表示されているベビーベッドの種類は、大別すると次の2つに分けられます。






サークル兼用のもの
ベッド専用のもの
- 3 床板は、使用時に容易に外れないようなしっかりした構造になっています。
- 4 サークル兼用のもの以外は、床板の上面より30cmの高さまでの範囲には、横棧など、幼児が足を掛けるような構造は一切付いていません。
- 5 組子(棧)間や組子と支柱間の間隔は、乳幼児の頭が入らないような構造(8.5cm以下)になっています。




ベッドの特長

★SGマークが表示されているベビーベッドは、次のような特長を備えています。

- 6 床板の上面から上桟までの高さは、60cm(サークル兼用のものは35cm)以上になっています。

サークル兼用のもの
ベッド専用のもの
- 7 床板、前枠および後枠、組子などは、所定の強度を保持しており、乳幼児がベッドの上で暴れたり、保護者が枠により掛かって、十分耐えられるようになっていますが、保護者は床板に腰を掛けしないで下さい。


- 8 合成樹脂製品、合成樹脂塗料、繊維製品などを使用しているものについては、食品衛生法や有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律などによる規制基準を参考として、その安全性が確認されています。

使用上のご注意

★誤った使い方をして思わぬ事故
正しい使い方に十分注意して、

- 使用して良い乳幼児の年齢は標準として**生後24ヶ月以内**です。
- 敷ふとんおよび、**マット**などは枠との間に**すき間**を生じないもので、適当な固さを有するものを使用して下さい。
- ベッドの設置場所は水平、平たんで近くにストーブなどの危険物または手足の届く位置にタンス、イスなどの足掛りになりようなものが無い安全な場所を選んで設置して下さい。


- 止め金具およびネジ類は確かかどうかときどき点検し、ゆるんでいる場合はしっかり締め直して下さい。**代替品の金具は使用しないで下さい。**
- 床板の高さが調節式のベッドは、乳幼児がつかまり立ちできるようになった場合(早ければ生後5ヶ月から)は、這い上がる危険がありますので床板は床板上面から上桟の上面までの高さが**60cm以上**になるように調整して下さい。調整後の高さが60cm未満のサークル兼用ベッドの場合は、床板、キャスターを外してサークルとしてご使用下さい。
- 1歳を超えたと、幼児の動きも活発になり、枠を**乗り越える**場合がありますので十分ご注意下さい。


- ベッドの内側には、乳幼児が足を掛ける様な箱類や、折りたたんで高くなったふとん、オムツ、衣料などは置かないようにして下さい。

を起こした例もありますので、
赤ちゃんの安全をお守り下さい。

- マットレスまたは敷ふとんなどを使用する際には、乳幼児が容易に枠を乗り越えて落下する高さとならないように注意して下さい。
- 扉使用後は**(ベッドから保護者が離れる時も)**スライド式または開閉式の扉の柵は必ず**上段**の位置に固定して(戻して)下さい。
- キャスターにストッパーが付いているものは、使用時に必ずストッパーを掛けて下さい。
- ベッドには**ひも類**などの不必要なものは危険ですから取り付けないようにして下さい。
- 枠には腰を掛けたり、ぶら下がったり、揺さぶったりする様なことはしないで下さい。
- **ベッドは破損、故障などが生じた状態**では使用しないで下さい。
- 同時に**2人以上**で使用しないで下さい。
- 乳幼児の頭巾が柵の縦棧の間隔および縦棧と支柱との間隔より小さい場合は、十分注意して使用して下さい。
- スライド式または開閉式の扉を操作する際に、手足などは**はさむ**危険がありますから十分注意してご使用いただくと同時に、保護者以外は操作しないで下さい。

